

うちのひとのための 交通安全新聞



9月



命を守るシートベルト子どもには「凶器」にも・・・

先月、福岡県で軽自動車と路線バスが衝突し、後部座席に乗っていた幼い姉妹が亡くなるという痛ましい事故がありました。姉妹はチャイルドシートやジュニアシートを着用しておらず、シートベルトに腹部を圧迫されたことで死亡したとみられています。命を守るはずのシートベルトが、子どもにとっては凶器になるケースがあります。

道路交通法は、6歳未満の幼児に対してチャイルドシートの着用を義務づけています。一方、JAFは6歳以上でも、身長140センチ未満の場合には、チャイルドシートやジュニアシートの着用を「推奨」しています。

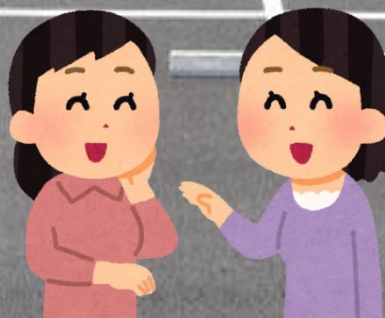
チャイルドシートやジュニアシートを正しく着用し、体格にあった乗車方法を選択することがお子さんの命を守ることに繋がります。



出典：令和3年度学校保健統計（文部科学省）より



子どもたちは車の陰で遊び、お母さんたちはおしゃべりに夢中・・・よく見る光景ですが、駐車場における交通事故は非常に多いです。駐車場では手をつなぎ、子どもを交通事故から守りましょう。



家族みんなで交通安全意識を高めよう！

秋の交通安全県民運動

9月21日～30日

